

横浜国立大学

ワングル部
O・B会発行
1964.9.30

の 中で O・B が顔を出
せたものをひろい出
してみると四月末の
歓迎ワンドーリング。

学生時代の甘い楽しみでしか
なかつたのだろうか。

八年目の厄年

三期 井上

ワングルが出来てもう八年
になる。ということは O・B が
四代、そして現役が四代と同
じだけいることだ。来年にな
れば一期の人達にとっては顔
も知らぬ連中が O・B 会に入っ
て来る。

そして今度の夏合宿。松江に
集中豪雨で山陰合宿は中止。
ともかく一本の偵察ですんだ
事がない。

八年目の厄年、こんな言葉
がびつたりしそうな今年の状
況である。ともかくついてい
ない。新人歓迎ワンドーリング
は偵察を行った曲岳から帶那
山に変更になるし、新人合宿

はストさわぎで出発前日奥多
摩へ偵察に。まあストが解除
になつて志賀高原に行けたけ
れど。

O・B 連中がなつか
しいがるワングルというものは
現在あるワングルではなくて、
かつて自分達が過した甘くな
つかしい思い出にしか残つて
いないものでしかないのかな。
行会。

月に一度ぐらい O・B のそん
な大げさでない簡単な顔みせ
的な集まりがあつたらと思う
ことがある。だから試みに現
役連中が日曜日を使う時、あ
ちこちとさそいの手をかけて
見るが、現われるのはまれで
ある。こんな状態にぶつかる
と O・B 連中の事なんかほっぽ
つて現役連中の中に入つて行
きくなつてしまふ。O・B 連
中はもうワングルは負担なん
だろう。

そして会合においても昔の自
分達の仲間に会えればそれで
良いのであって、もうワングル
のようらん期を歴史でしか
知らない、その歴史の中から
みとろうとしている。後につ
く連中の事などは用がない
のだろうか。ワングルなんて
小屋の話がころがりこんだよ

昨年の大学祭の時だったか
な、四年生を O・B 会の会合に
顔を出させるなんて話があつ
たように思つたけどあれほど

うなつてしまつたのだろう。
もうすぐ十年をむかえる。

十年目には山小屋をなんて言
葉があるけど、意外に早く山

うだ。もしこゝで山小屋建設にふみきる事になれば、現役とOBとはもつともつと連絡をとつて協力しあつて行かねばなるまい。大体山の好きな人間は仲間意識が強くて閉鎖的傾向があるから、同じワンゲルというものでつながつても見知らぬ現役はある程度の反発意識が出ないともかぎらない。OBとのミゾ、それは現役のOB連絡の手間であり、金銭的けじめがきちんとついてない事であり、お互いに顔の知らぬ仲間になつてしまつてゐる事などであろう。これからミゾが深くなるか浅くなるか、それはOBの出方の問題であろう。

0 B 諸氏へ

とO.B.とはもつともつと連絡をとつて協力しあつて行かね

会長 松本

○B 會創設後丸三年位經過

とうたつてある。どうらへ重
点を置くかによつては、現役
への寄附団体（運動部のO
B会は大半がこれである）
にすぎなくなる。

人間は仲間意識が強くて閉鎖的傾向があるから、同じワンゲルというものでつながっていても見知らぬ現役はある程度の反発意識が出ないともかぎらない。OBとのミゾ、それは現役のOB連絡の手間であり、金銭的けじめがきちんとついてない事であり、お

し、会員も現在六十一名の大世帯となつた。会則自体も創立一二年の間にほぼ陽の目は見たが、その後正式に全員全般に行きわたつていないので、幹事会の怠慢といえよう然し学生時代と異なり、会規会則のみにしばられていては自由な活動ができなくなる。

当OB会は創立以来後者は主として顧問嘉納　君がその接觸に当たり、前者に大きな目的を置いて活動することに、一貫した態度をとっている。親ボクの方は社会人ともなると、そう度々会うのは難しく、年三一四回の規模で集まりを持つ様計画されている。

(これは次の総会にて専任を置く様提案するつもり)まで送らねばならない。又原橋を頼まれたら期日までに必ず送る様にすることがO.B会存続の為にも不可欠と考える。殊に地方在住の人々に望みたい。

連絡機関、方法の検討が急要である。

出方の問題であろう。

は、すでに総会、懇親会、会報発行、現役共用の名簿発行等の実績はあるにしても、OB会自身の本来の活動、会としての存在意義、目的について根本的にOB会員皆で考えねばならない時機だと思う。

の総会、年末と夏休みの頃。
然しこれとても京浜地方在住
の人達に限定されている。然
し重要なのは連絡の方だと思
う。機関紙として会報がある
が、これをガリ版ワラ半紙で
よいから、定期的に数ヶ月お

会則には

きに発行することによつて連

今の現役はやがては〇Bになつて行く。

根本的にO.B会員皆で考え
ねばならない時機だと思う。

が、これをガリ版ワラ半紙で
よいから、定期的に数ヶ月お
きに発行することによつて連
絡と親ボクが完成されると思
う。

第一期生経済学部出身の人達が学生時代に、山行、テニス、スキー、麻雀等とサボったお蔭で、社会へ出て勉強不足を痛感し、拙宅にて月二回

その為にはニュース源としての会員全員の協力がないと

勉強会を開いているが、たまたまその席上嘉納が来訪し、山小屋建設の話がもちこまれた。彼自身は外部の同志と団つて共同で、谷川岳ふもとに山小屋を建設した経験をもつが、話の大要は、「あちこちの建設会社がダム工事等で建てた仮設の小屋（最近はとても立派なものが多い）を払下げて貰うと安く手に入る。帆によつては、円台すらあるから、我々もぼつぼつ創立十周年も間近く考えてみたら」ということである。資金面、管理面、利用価値等問題は多いが全員賛意を表し、とり敢えず山小屋建設小委員会（仮称）を設立し、嘉納、田上、望月、河野、桑原、小野、松本を発起人とし研究段階として具体的な案をねり、検討して〇・B総会又は幹事会にはかることに衆議一決。

場所として夏冬ともに使用
出来て、交通の便なる処とい
うことになつた。

道路完成し、一般に開放されると五時間で行ける様になり、非常に閑静である。

やあ！やつて来ました。見え
る、見える!!何が？とぼけち
ゃいけないよ!!全くお以合い

山の戻歴譜の語が、せむ三村
た。彼自身は外部の同志と図

その後八月八日嘉納より電
話があつて奥只見に行つたと

大学側が拒否した時、OB
会独自で交渉するかは又後の

の御両人のやや緊張の面持ちで中央に。恩師の北川教授御夫妻に御両人が紹介される。

が、話の大要は、「あちこち

た處、大学としてなら、土地を無料提供し資金、管理面で

以上の様な経過であるが、
会員諸君の批判、協力方をお
願いしたい。

聞けば足かけ六年にも及ぶ相思相愛の仲との事「あんちくしょう!!虫も殺さぬ程を面を以て、かつ山に出かけて体操を

も立派なものが多）を払下

來た。そこで八月十四日拙宅にて、現役主將

ワンゲル第一号

から、我々もほつほつ創立十

小野、望月、
二期吉野、と会合をもち、檢

—おめでとう藤林君—

管理面、利用価値等問題は
多、が全員参画を表す。

一、大学側の意向を確かめること。

二期 塚原

会（仮称）を設立し、嘉納、

ものである。

ホテルニュージャパンのいき
なボリネシアンレストランで
藤林君の結婚式が行なわれま
した。式にはOB会からも同

究段階として具体的な案を
ねり、検討してOB総会又

場所としては日本一のダム田子倉ダムで、只見線小出より入るので、現在は東京より十時間かかるが、将来新潟まで

した。式にはOB会からも同期三名が出席、彼の晴れ姿、いや彼の奥さんを見ようと緊張していたとおぼしめせ。

頑張れ！ 徹ちゃん！

追伸

最近OB会の諸氏のおめでた
いうわさを耳にする。

会報を通して皆さんに報告し
たいと思います。幹事 近藤一
報の程を。

しかし数年前、共にテントを
張っていたときには思つても
みなかつた問題（うそつけ）
が現実となつて来ようとは。
月日の経つのは早いもので
ではみなさんよいお話を。

ボーリングを習い二、三回
通つたのち同期のOB二名を
ボーリングに連れて行つたと
おぼしめせ。

“ホールの握り方はこう、投
げ方はこう”と得意になつて
教えていたが御当人もまだ初
心者、一向に理屈通りうまく
行かない。

地方OB近況

そのうち生徒であるT君調
子が出だして二ゲーム目に百
五十五点を出してしまった。
先生まだ一度も百五十点を越
したことがないというのに何
たることか。聞くところによ
ると、初めての人はとかく良

今はやりの遊び（スボ
ツ？）にボーリングがある。
そここにボーリング場が出
現し、競技人口も増加の一途
をたどつてゐる。

さてあるOB、さることか
らボーリングを習い二、三回

ボーリングに連れて行つたと

いふかOB会でボーリング
大会でも開いたら如何なもの
でしょうか。ある会長、ある
顧問の投げる姿を御想像アソ
バセ。

（運動神経のニブイOB）
から何十年たつてもプラプラ
さい。今年の目標は学校出で
歩くのが好きで四国、九州、
山陰陽、紀伊、北陸、京奈良
と巡りましたので能登を一周
することといい人を探して早
いとこ嫁さんにしちまおうと
考えてます。マジメで云つて
るんですから笑わぬように頑
います。

（一期吉田）
された近況の内、地方の会員の
をいくつかあげてみました。

（相変らず会社は人手不足の
ため多忙を極めなかなか学生
時代のように自然に親しめま
せん。）（一期、吉田）、
三菱電機、静岡）非常に真
面目な生活を送つております。
二月に一度とまた今月は三一
四日大山へスキーを計画して
います。大山は大変気に入つ
ております。いつかワングル
の方と、もちろん女性とでナ
ガ、滑るのを楽しみにしてお
りますから誰か計画をして下
さい。

（一期吉田）
今年は近くの山へ一回、スキーハー一回出かけただけ。今
年の始めに自動車免許を取得
したところによると、初めての人はとかく良
い点が出るそうだが、百五十
五点とはよほどの天才ではな
かろうか。これもワングルで
かも知れぬ。
ともあれ初めての人でも楽し
めめるボーリング、金はかかる
がたまには気晴らしになつて
精神衛生上大いによろしいの
ではないか。
いつかOB会でボーリング
大会でも開いたら如何なもの
でしょうか。ある会長、ある
顧問の投げる姿を御想像アソ
バセ。

（一期吉田）
山陰陽、紀伊、北陸、京奈良
と巡りましたので能登を一周
することといい人を探して早
いとこ嫁さんにしちまおうと
考えてます。マジメで云つて
るんですから笑わぬように頑
います。

（一期吉田）
（三菱レイヨン、大阪）
（昨年はよく歩き回りました
が今年は近くの山へ一回、スキーハー一回出かけただけ。今
年の始めに自動車免許を取得

しましたので歩くのを減らしてドライブにでも出かけようかとも思っていますが…。会社の方は相変わらず最低の不景気で春の昇給もあやぶまれるくらいです。

日間静岡に行き高橋のクロ助
と会い交歓致しまして相變ら
ずで小生の方がやゝ白いので
はないかと思う程なかなか忙
がしそうです。○B総会には
十一月、あるいは十二月の丹

のせられないのが残念ですが
地方の会員のみなさんそれぞ
れ元気で活躍しているようで
何よりです。

新居浜讚歌

雀奴諸夫

静けさは蛙の声

うるさきは友のうごめき

卷之三

麦の香そ

鼻を打つ

浜に寝そべりて

卷之三

裏山よりの眺約

城山からみたる桜島

何程先生集

卷之三

讀べきかな新居浜

わが成算寮のある所

たた忘れる勿れ

二三志あるふ刃

人々の魂を

三月二十一日

以上紙面の都合でたくさん

春のOB会

も第四期生を迎えるに至った。

冬 追出しコンバ 参加

☆OB会の運営方法

会長—各期幹事—各会員

問

とき 昭和三十九年三月二

昭和三十九年三月二
十九日(甲)午後三

ところ 桜木町駅前、美野和

ね、春のO.B会が現役の総会のあとなつかしき桜木町駅前の「美野和々」で開かれた。出席者も三十名と総勢の約半分も集まりにぎやかな会であった。

その他各期で同期会は適宜行なう。

一年間（三月末—翌年三月）を一つの期全体で責

任をもって事業に当たる
当番に当った期の幹事を

年度幹事と称し会長、

○会費は毎年七月に会長の指示により各期の幹事が会員に連絡、各会員→各幹事→年度幹事（当分の

卷之三

会の運営に当たる

三言 力透二

度は第一期が年慶幹事会に當たる。従つてこの制度

会員登録

員を迎える限りOB会員

になって一度だけ年度幹

事をつとめれば、あとは

名期をし、かりどめで

かなり軽くなるわけであ

一〇

以上のようなことがきまつ

けであるか新たに年慶幹

卷之三

早いものでワンゲルOB会

秋 大学祭参加・総会

四

OB会報
K

たわけであるが新たに年慶幹事制度というのが発足し。B

会の運営をスムーズにしよう
という意図が充分盛り込まれ
ているように見受けられた。

と/or あえず今年度（三十九
年三月末—四十年三月）は第

二期（吉野、倉田、米屋他）
が年度幹事に当たるので、各
期の幹事及び各会員は連絡そ
の他を第二期幹事迄お願ひし
ます。

名簿変更追録

を行ない六時楽しく散会し、
第二ラウンドは各期毎の同期
会へと夜のヨコロマへ散つて
行つた。

（一期 吉野記）

一期生

一、佐藤

二期生

一、嘉納

勤務先

二、松本

電話

一期生

一、佐藤

二期生

一、嘉納

勤務先

二、松本

電話

尙念の為各期の幹事は
第一期 田上、望月
第二期 吉野、倉田
第三期 井田、横手
第四期 跡部、安部
である。

以上で議事を終り会食に入
り、ビールと洋食を囲みなが
ら

- 各期よりの近況報告
- 地方のOB・OGだより
- ワングル及びワングルOB
会についての諸意見交換

近年とみに滞納が目立つ。

今は会費なくては運営出来
ないもの。各期の幹事宛至
急おさめて下さい。各自考
えればわかるし、たまると
大変だ。幹事は受領後地方
の人には受領の葉書を出す
こと。

（一期 吉野記）

一、木野

新

自宅

勤務先電話

新

藤林

二〇二〇

藤林

新：

一、桑原

新

自宅

勤務先

新：

一、河野

新

（経、遠藤ゼミ）

勤務先

二〇二四

渡辺

勤務先

二〇二五

岩上

勤務先

勤務先電話

（）

二〇二七 岩村

自宅電話：

二〇二八 氏平

自宅電話：

二〇三〇 倉田

自宅電話：

第三期
三〇三四 三神

勤務先：

三〇三八 江崎

勤務先：

第四期

四〇六一 跡部

勤務先：

四〇六二 谷上

勤務先：

四〇六三 斎藤

財政中間報告

39.8.15日現在

(38.10.30~39.8.15) 第1号掲載後のもの

四〇七〇 郡司

勤務先：

四〇八六 織田

自宅電話 中原

勤務先：

編集後記

東京異常渴水、ふと
ころ異常金欠、秋も又

涼し、編集もこれ又進
みよらずわびしき哉人

生!だがO.B会ありて
皆ここになぐさめを見

出す。樂しき哉人生!

追記、八月十六日津久

井浜上官田海岸にてO

B会初めての海水浴を

催した。十二名の参加

をえて童心に返り楽し

き一日であった。特に

藤林夫妻には夏とはい

えどアツイ仲でいやは

やどうもゴチソウサマ

でした。

残高 は 支店普通預金 通帳口座番号 にて預入

O.B会報才一號

編集責任者二期 (吉野、
米屋)

発行責任者 松本

印刷 (有)鈴木タイプ印刷社